

公立大学法人宮城大学評価委員会 質疑事項

質問番号	報告書 ページ	中期計画番号	質 問 事 項	回 答
1	10	6	大学院博士課程の学生募集についてはどの大学でも苦勞しているが、他大学の中には大学独自の手厚い学生支援制度を構築している場合もある。宮城大学では今後の方針をどのように考えているのか？（中沢委員）	<p>大学院博士課程の大学院生への本学独自の支援制度については、第2回の評価委員会においてご説明しましたが、授業料の減免制度として、経済的理由により授業料の納付が困難で、かつ、学業成績が優良である場合、授業料の半額を免除しているほか、東日本大震災被災世帯の大学院生について、被災の程度に応じ授業料の全学又は半額を免除しています。また、職業を有している等の事情により長期修業年限を超えて一定期間にわたり計画的に教育課程を履修することを希望する場合は、長期履修を認める制度があります。</p> <p>また学生の研究活動に伴う経費(学会発表旅費を含む)の支援の充実化を図るとともに、教育補助業務に従事するティーチング・アシスタント、研究補助業務に従事するリサーチ・アシスタント、運営補助業務に従事するスチューデント・アシスタントとして雇用しているところです。</p> <p>学外の経済的支援制度として、日本学生支援機構の貸与奨学金の申請手続等において必要な支援を行っています。</p> <p>大学院の定員充足率の向上は、本学3研究科で専攻・課程を問わず共通の課題として捉えています。宮城大学の研究水準を向上させる上でも質の高い大学院学生の獲得は必要不可欠であり、そのために、外部研究資金や国等の支援も活用しながら、学生が修学しやすい環境整備に努めていきたいと考えています。</p>

質問番号	報告書 ページ	中期計画番号	質問事項	回答
2	10	6	外部資金が増加し、設備等の研究環境が充実することと、大学院の進学者の増加には、一般的には相関関係があるように思うが、どうなのか。また、その効果を感じているか、今後の展望についての見解を伺いたい（伊勢委員）	<p>外部資金獲得額の増加、およびそれに伴う研究環境の充実、入学・進学希望者に対するアピール要因となり得るものの、個々の入学・進学者においては、大学院で行われている研究内容や指導体制、進学希望者自身が描くキャリアパス、さらには経済的要因などを総合的に勘案して、入学・進学が判断されているものと考えられます。このため、現時点では両者の間に明確な相関関係は確認されていません。</p> <p>しかしながら、外部資金、特に企業活動等に関連した外部資金の獲得は、メディア、あるいは本学 HP 等を通して、本学の教育研究内容の発信にも繋がっています。また、時代遅れの教育研究設備等が入学・進学意欲を阻害することは事実です。</p> <p>研究環境の充実、本学における教育研究活動の発展・活性化に資するもので、結果として入学・進学者数の増加にも間接的に寄与するものと考えられます。こうした観点から、今後も外部資金の積極的な獲得とその活用を推進してまいりたいと考えております。</p>
3	28	23	R6 の教員あたり論文数は 1.5 本／年となっているが、分野別にみた場合、事業構想学群の研究発信力に関して低下傾向にあるかどうか、もしそうであれば何らかの対策を講じるべきと考えられる。（大隅委員）	<p>事業構想学群の研究発表件数については、令和 5 年度は特定の教員のプレスリリース件数が極端に多かったため、令和 6 年度の件数が大きく落ち込んでいますが、令和 6 年度の教員一人当たりの件数は 1.8 件であり、宮城大学の平均 1.5 件を上回っています。</p> <p>※別添「学群別研究成果発表件数」参照</p>
4	47	39	公開講座のタイトルと受講料のリストが欲しい。（中島委員）	<p>別添の「令和 6 年度公開講座のタイトル及び受講料」参照</p> <p>※公開講座については、県内の看護職のスキルアップを目的とした看護人材育成・支援事業のみ受講料を徴収しています。一般県民を対象とした他の講座は無料です。</p>

質問番号	報告書 ページ	中期計画番号	質 問 事 項	回 答
5	49	40	<p>学生のビジネスプランコンテストを令和 6 年度から実施しているとのことであり、今後盛況となることが予想されるが、現在での発表件数、参加者数、賞金の有無はどのような状況か？（中沢委員）</p>	<p>学生のチャレンジ精神を育み、自身が獲得した知識を社会に生かす機会を創出することを目的とし、令和 6 年度から MYU アイディアコンテスト「でるコン」を実施しています。</p> <p>事業化を目指す総合型部門の「ごりっと部門」と、事業化までには至らないが構想を形にしてみるアイデア型部門の「ふわっと部門」の 2 部門について募集し、1 次審査を通過した企画については、大和キャンパス講堂において、最終審査（プレゼンテーション）を実施します。</p> <p>令和 6 年度の最終審査は、「ごりっと部門」が 4 企画（応募 15 企画、参加学生 34 人）、「ふわっと部門」が 4 企画（応募 22 企画、参加学生 70 人）、令和 7 年度の最終審査は、「ごりっと部門」が 5 企画（応募 14 企画、参加学生 44 人）、「ふわっと部門」が 3 企画（応募 7 企画、参加学生 23 人）で行われ、部門ごとに最優秀賞と優秀賞を決定し、それぞれ副賞（活動費）が贈られます。</p> <p>副賞（活動費）は、「ごりっと部門」が最優秀賞 30 万円、優秀賞 20 万円、「ふわっと部門」が最優秀賞 10 万円、優秀賞 5 万円で、プロジェクトの進行に必要な物品等の購入や先進事例の視察に伴う旅費など、ビジネスコンテストで提案された活動を行うために使用するルールとなっています。</p>

学群別研究成果発表件数（第3期中期計画期間）

（単位：件）

	R03			R04			R05			R06		
	件数 (合計)	教員数	件数 (1人あたり)	件数 (合計)	教員数	件数 (1人あたり)	件数 (合計)	教員数	件数 (1人あたり)	件数 (合計)	教員数	件数 (1人あたり)
看護学群	90	47	1.9	52	44	1.2	66	47	1.4	69	46	1.5
事業構想学群	92	37	2.5	104	35	3.0	215	38	5.7	61	34	1.8
食産業学群	96	40	2.4	45	39	1.2	71	37	1.9	60	37	1.6
基盤教育群	3	14	0.2	10	14	0.7	8	13	0.6	7	13	0.5
研究推進・地域未来共創センター	2	1	2.0	5	1	5.0	1	1	1.0	1	2	0.5
合計	283	139	2.0	216	133	1.6	361	136	2.7	198	132	1.5
目標【1人あたり発表件数】			1.0			1.1			1.2			1.5

令和6年度公開講座のタイトル及び受講料

公開講座名	タイトル	受講料
オンライン公開講座	看護を学ぶ上で大切な「ケアの本質」を英語で探求してみよう	0円
	造血幹細胞移植の理解と看護	
	公共施設の老朽化問題の現状	
	—公共施設等総合管理計画から10年—	
	地方創生なんて、大きなお世話だと思っています	
	イネの収量構成要素～お米の生産量を増やすために～	
	食を通じた持続可能な地域づくりの推進	
食産業政策の学びと実践		
	文学へのアプローチ	
看護学群公開講座	人生100年時代の「お口の健康」 —口から始まる全身の健康—	0円
食産業学群公開講座	サステイナブルなフードサービス	0円
基盤教育群公開講座	学ぼう英語のいろいろ	0円
看護人材育成・支援事業	新人看護職員研修新任教育担当者初回研修	4,000円
	訪問看護師育成研修	4,000円
	看護研究指導者研修	1コース 20,000円 1公開講座 2,000円
	新人看護職員として働く卒業生のための集い	0円
	看護マネジメント研修	2,000円
連携自治体等へ出張講座	コミュニティプランナー・プログラムによる地域人材育成の可能性	0円
	農と食のアイデアが形になるプロセス：東北地方から考えるイノベーション・マネジメント	
	「どうする家康」が触れなかった戦国時代末の東北・大崎地域	
	脈拍と呼吸から見えてくる自分の身体のコンディション	
	大崎市まちづくり物語	
宮城大学 研究・共創フォーラム		0円
みやぎ食の絆シンポジウム	食品業界をめぐる様々な課題に立ち向かう商品開発	0円
自治体向けセミナー	自治体政策の課題と展望	0円